

高瀬湖だより 号外

島地川ダム下流の

「泡」

について

今年9月上旬から島地川では島地川ダムから下流の水面に『白い泡』が目立つようになってきました。

泡の発生原因は、島地川ダム湖で発生しているアオコ（植物プランクトン）が死滅して分解する際に、アオコの細胞を構成している「多糖類」が堰や瀬などで攪拌され、泡として発生するものと推察され、泡自体に毒性はありません。

昨年9月末頃から同じような泡の発生が確認されました。

現在、島地川の堰や瀬で泡が発生し、その下流に流れ、淵など流れがゆるやかなところで滞積しております。泡は、攪拌される状況や水に溶け出している「多糖類」の量（濃さ）などによって、それぞれの場所で発生する量や大きさなどが違っていま



す。

山口河川国道事務所では、現在、島地川で泡の発生が多いと見られる4箇所（高瀬峡・和田地区・島地地区）で、泡の流下を少なくするためにフェンスを張り、溜まった泡を除去する作業を行っています。

泡の原因となる「多糖類」は、水中に溶けているため、泡となって発生したものを取り除いても、下流にある堰や瀬などで再び発生し、それを繰り返すため、決定的・効果的な対応策がないのが実状です。また、泡の状態は、貯水池のアオコの状況や気象条件、ダムからの放流量などによっても変化すると考えられ、支川から入り込む水によって「多糖類」の濃度が薄くなれば下流の泡の量なども変わってきます。

泡の発生が一気に解消することは困難かと思われますが経過を観察し、発生した泡の除去に努めています。

フェンスを設置



【アオコ】

「アオコ」とは湖や池で発生する藍藻類と呼ばれる植物プランクトンで、このアオコが大量発生すると水面に浮き上がり、緑色の粉を浮かべたような、ペンキを流したような状態になります。

「高瀬湖だより」お問い合わせ

平成20年9月5日発行
発行者／国土交通省 中国地方整備局
島地川ダム管理支所
住所／〒746-0101
山口県周南市大字高瀬 257
TEL (0834) 67-2878
FAX (0834) 67-2427
○ホームページ
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi>

